

浜松市文化振興ビジョン(案) に対するご意見ありがとうございました

市民の皆さんからの提出意見と
その意見に対する市の考え方の公表



令和元年9月から10月にかけて実施しました浜松市文化振興ビジョン(案)に対する意見募集(パブリック・コメントの実施)に貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。

意見募集を行った結果、市民等5人・5団体から26件のご意見が寄せられましたので、それらのご意見とご意見に対する市の考え方を公表いたします。

ご意見につきましては、項目ごとに整理し、適宜要約し掲載しております。

また、お寄せいただきましたご意見を考慮して、「浜松市文化振興ビジョン」を策定し、令和2年4月からの実施を予定しています。今後とも、文化行政に対するご理解とご協力をお願いいたします。

なお、この内容は、市ホームページ(<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp>)にも掲載しております。

令和2年1月

浜松市市民部創造都市・文化振興課

〒430-8652 浜松市中区元城町103-2

TEL 053-457-2417

FAX 050-3730-2887

Eメールアドレス

bunka@city.hamamatsu.shizuoka.jp

募集結果

【実施時期】	令和元年9月13日(金)から令和元年10月15日(火)		
【意見提出者数】	5人・5団体		
【提出方法】	持参(0) 郵便(1) 電子メール(3) FAX(1) 区協議会(5)		
【意見数内訳】	26件 (提案 6件、要望 11件、質問 9件)		
【案に対する反映度】	案の修正	4件	今後の参考 7件
	盛り込み済	4件	その他 11件

目次

はじめに	(意見数 0件)	
1	ビジョン策定の趣旨	(意見数 0件)
1-1	ビジョン策定の目的	
1-2	ビジョンの位置付け	
1-3	ビジョンの期間	
2	浜松市の文化を取り巻く状況	(意見数 2件)・・・ 2ページ
2-1	前ビジョンの成果と課題	
2-2	国の動向	
2-3	文化に係わる環境の変化	
3	ビジョンの基本目標	(意見数 2件)・・・ 2ページ
3-1	目指す都市のイメージ	
3-2	基本方針	
4	施策の展開	(意見数 3件)・・・ 3ページ
4-1	施策の方向性	
4-2	施策展開の考え方と視点	
5	ビジョンの推進にあたって	(意見数 6件)・・・ 3ページ
5-1	ビジョンの推進体制について	
5-2	文化施設について	
5-3	施策の検証と評価	
附属資料	(意見数 2件)・・・	5ページ
その他	(意見数 11件)・・・	6ページ

2 浜松市の文化を取り巻く状況（2件）

質問 1	ビジョン策定にあたり、前ビジョンの施策の進捗状況と、定質的な評価を教えてください。
---------	---

【市の考え方】その他

P4 2-1 前ビジョンの成果と課題において、前ビジョン策定から現在までの取り組みの整理を行っています。なお、本市では政策・事業シートによる政策・事業評価を導入しており、文化関連の施策についても、その中で毎年評価を行っています。

要望 1	元々あったものがなくなったり廃れていくというのは、その地域の文化の喪失になる。各地域でつなげてきたものも文化だとするならば、それを拾い上げて今どうなっているのか、それに対して市はどうか、市民としてはどうしたらよいのか、ということがやれているのか。そう言うところに目を向けるような形をとらなければいけない。
---------	--

【市の考え方】盛り込み済

過疎化、少子化などを背景とした文化財の滅失・散逸を防ぐとともに、価値付けが明確でないものも含めた有形・無形の文化財をまちづくりに生かし、地域社会総がかりで取り組んでいくことができるようにするため、平成30年（2018年）に文化財保護法が改正されました。こうした法改正の趣旨を踏まえ、市民参画による伝統的・歴史的文化の保存と継承支援などを基本施策に位置付けています。

3 ビジョンの基本目標（2件）

提案 1	基本目標に「文化で市民の幸せを創り出す都市」とあるが、幸せという言葉の中には喜びや活力も含まれると思うので、幸せと活力を創り出す、という表現があると力強いと感じた。まずは地域の文化に愛着を持つというステップを踏んだ方が良かったと思った。
---------	--

【市の考え方】盛り込み済

ご指摘のように、幸せの中には喜びや活力といったものも含まれるものと考えています。そのため、「幸せ」の具体的な状態のイメージとして、3-1（1）で「創作の喜びを感じる」、（2）で「都市の活力となっている」と表現しています。

提案 2	“ポテンシャル”の意味は可能性や潜在能力という意味と認識しているがP14で“社会的、経済的価値”という意味になっている。“ポテンシャル”という言葉をごどのように捉えればよいか。様々な意味で使われていてわかりにくい。端的な言葉を使ってもらいたい。
---------	--

【市の考え方】その他

このビジョンでは、ご指摘のようにポテンシャルという言葉、「可能性、潜在能力」という意味で使っています。文化が持つ普遍的な価値に埋もれていた可能性や潜在能力として、社会的、経済的価値が注目されてきているということ表現しています。

4 施策の展開（3件）

提案 3	P18にある4-1（3）②基本施策2「人材の発掘と育成」は創造都市浜松の国内外への発信のためではなく、育成された彼らのスキルなどが市民に還元できるように活用してほしい。
-----------------	--

【市の考え方】盛り込み済

真に才能あるアーティストやクリエイターの能力は、本市の枠にとらわれず、世界を相手に広く還元されていくべきものと考えます。こうした人材を発掘し育成することは、ひいては都市のブランド力の向上につながり、市民の誇りになっていくものと考えており、結果的に、市民への還元といった側面も持っているものと考えます。

質問 2	P19に文化で社会を改革するとあるが、新ビジョンでは浜松市の社会の何を改革するのか。
-----------------	--

【市の考え方】その他

ここでは40年近くにわたる本市の音楽のまちづくりへの取り組みを振り返り、本市が「音楽のまち」との認知が広がるまでの長い期間を踏まえて「文化で社会を変革するには、地道で継続的な取り組みが重要」としています。今後、ビジョンが目指す基本目標、ひいては本市の都市の将来像の実現に向けても、地道で継続的な取り組みが重要であると考えています。

なお、「文化で社会を変革する」とは、3-2 基本方針の（2）にもあるとおり、都市が抱える課題の解決や文化芸術が持つ社会的・経済的価値が都市の活力を生むといったことを指しています。

質問 3	P19の4-2（3）文化芸術分野のマーケティング力強化とあるが、効果的な事業の選択と運営の基準は何か。企業等の組織のマーケティング視点の文化芸術分野への取り入れ方を具体的に教えてほしい。
-----------------	---

【市の考え方】その他

前回のビジョンにおいても文化・芸術分野の魅力を市民に伝えるマーケティング力の強化を施策の方向性の一つに位置付けていますが、今回はさらに広げる形で文化事業の取捨選択あるいは事業実施の際の運営等について、経営的視点でマーケティングの考え方、手法を参考に取り入れることで事業の価値や市民の満足度を高めるようにすることを目指すものです。

個々の事業によって具体的なポイントや基準などは異なりますが、例えば、市民ニーズ、対象者の絞り込み、目的を達成するために適切な手法の選択、事業価値の伝達など、事業実施の効果を最大限に高めていくことを目指します。

5 ビジョンの推進にあたって（6件）

質問 4	P23推進体制のイメージ図で、美術館等の文化施設はどの位置に属するか教えてほしい。
-----------------	---

【市の考え方】その他

市が設置する文化施設については、市の行政目的に基づいて設置されるものであるため、「浜松市」に内包されるものとして考えています。

質問 5	P 2 4 ホールの整理とあるが、ホール施設は市民への貸館として機能していくようだが、劇場法の対象施設はどこになるか教えてほしい。
-----------------	---

【市の考え方】 その他

劇場、音楽堂等の活性化に関する法律において「劇場、音楽堂等」とは、「文化芸術に関する活動を行うための施設及びその施設の運営に係る人的体制により構成されるもののうち、その有する創意と知見をもって実演芸術の公演を企画し、又は行うこと等により、これを一般公衆に鑑賞させることを目的とするもの」としています。本ビジョンで「ホール等」と分類した17施設につきましては、実演芸術を行うことを前提に舞台・客席を備えた施設ですので、いずれの施設も同法でいう「劇場、音楽堂等」に該当する施設であると考えます。

質問 6	P 2 5 表内の7、文化コミュニティセンターはどの施設を指すか教えてほしい。
-----------------	---

【市の考え方】 その他

中区早馬町のクリエート浜松内にある施設です。クリエート浜松は浜松市文化コミュニティセンター、浜松市中部協働センター、浜松文芸館などが入った複合施設です。

要望 2	P 2 5 各地域の利用圏域をみると、行政区域の利用者を想定している地域施設が東区と南区にはない。今後、それらの区域を圏域とした施設の建設予定がないのであれば、行政区域内の利用者を想定するという地域施設の表記は避けるべきである。
-----------------	--

【市の考え方】 案の修正

利用圏域の名称は浜松市公共施設等総合管理計画の利用圏域の分類に基づくものです。その中で地域施設は、市域全体の利用を基本単位とする市域施設と中学校区程度を基本単位とする生活圏域施設の中間に位置付けられた、行政区域内程度の利用を基本単位とする施設になります。

区の施設として区民の利用を想定する施設という考え方ではなく、想定する利用者の圏域の大小を示す上で分類するものです。

浜松市公共施設等総合管理計画での表現と異なる点がありましたので、以下の通り修正しました。

《修正内容》

(修正前)

ビジョン案 P 2 5 下から 3 行目

「地域施設は、主として行政区域内の利用者を想定し、…」

(修正後)

「地域施設は、主として行政区域内程度の利用を想定し、…」

提案 4	向こう10年でのICT技術の発展についての具体的な洞察及びそれに対応した文化施策の提示が必要だと思う。2-3文化に係わる環境の変化(4)に「ICT技術の発展と新たな創造社会」を挙げたことは非常に妥当なことだと思うが、それに対応する具体的施策については「文化情報に関するアーカイブの必要性」が僅かに述べられているのみで、4施策の展開にも、5-2文化施設についてにも何も記述がない。2-3(4)ではSociety5.0への言及があるのだから、今後の文化活動支援環境の展開案の中に、フィジカル空間とサイバー空間を結びつけるような施設やアプリケーションの整備・展開など未来志向の提案を挙げておくべきではないか。
-----------------	---

【市の考え方】今後の参考

本ビジョンでは、ICT技術の発展と新たな創造社会をけん引していく主役は市民であると考えています。それに対応するための基本施策として「市民の創造的活動の支援」を挙げるとともに、5-2文化施設の中で、「市民文化創造拠点」として、「浜松市市民文化創造拠点施設基本構想」に基づき創造都市を推進する施設の検討を進めていくこととしています。

ご提案いただきました事業案につきましては、支援体制としての浜松版アーツカウンシルの事業や「市民文化創造拠点」の検討を進める上で、参考にさせていただきたいと考えています。

質問 7	P27の検証と評価は政策・事業シートを用いるとあるが、そのシートを示してほしい。
-----------------	--

【市の考え方】その他

浜松市のホームページ上で公開されているほか、市政情報室などでも閲覧することができます。

ホーム > 市政情報 > 施策・計画 > 総合計画 > 浜松市総合計画 > 戦略計画
<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/kikaku/senryakukeikaku/index.html>

附属資料(2件)

提案 5	「浜松市における文化振興のあり方検討会」の委員名簿や検討経緯に関する記載を加えてはどうか。
-----------------	---

【市の考え方】案の修正

委員名簿を新たに掲載しました。

提案 6	附属資料について、文章中の言葉の中で用語解説があるというマークを付けるか、あいうえお順の用語解説をやめ、注釈番号をつけて、番号順の用語解説にしたほうが分かりやすいと思う。
-----------------	---

【市の考え方】案の修正

解説を加えるべき用語を最初に使用する際に、脚注で用語の解説を行うことにしました。

その他（11件）

要望 3	アート性の高い書籍を扱うZineを買える本屋などが充実すればお洒落な知的なアーティストが増えるのではないかと。面白さをつくりアーティストが育つ場所があるといいなと思う。
-----------------	--

【市の考え方】今後の参考

アート関連の店舗の充実などは、まちの魅力を生み出す一つの要素であると考えられますので、民間事業者による取り組みがなされることを期待しています。

なお、産業とアート（アーティスト）との連携については、4-1 施策の方向性の（2）の②で「地域の文化資源や創造的な人材を観光や産業等に結びつけることで、経済的な好循環を生み出します」と記載しています。

要望 4	BEAMSやPARCOのようにアートに関心のあるショップなどが、あるといいと思う。アート展示などの企画や地元クリエイターとコラボしたTシャツ作成などの企画があると街も面白く感じることもあるかもしれない。
-----------------	---

【市の考え方】今後の参考

アート関連の店舗の充実などは、まちの魅力を生み出す一つの要素であると考えられますので、民間事業者による取り組みがなされることを期待しています。

なお、産業とアート（アーティスト）との連携については、4-1 施策の方向性の（2）の②で「地域の文化資源や創造的な人材を観光や産業等に結びつけることで、経済的な好循環を生み出します」と記載しています。

要望 5	ギャラリーでの展示会や個展、国際芸術祭の開催など、子供からお年寄りまで楽しめる社会、暖かいやさしい気持ちになれる文化芸術の街を目指し、心にゆとりある生活ができる文化の育成を図る。
-----------------	---

【市の考え方】盛り込み済

基本施策の一つに「共生社会の実現」を位置付け、誰もが文化芸術に親しむ機会をつくとともに、文化芸術を通じて社会参加し、文化の担い手となる共生社会の実現を目指すこととしています。

要望 6	フィンランドは犯罪が少なく、安全な国と言われ、クリエイターもデザイナーも多く街並みもお洒落だと思ふ。人の心を癒し、やさしい街にするにはフィンランドや北欧を参考にした街づくりもいいと思う。
-----------------	---

【市の考え方】今後の参考

基本施策の一つに「国内外の都市との交流・発信」を位置付け、ユネスコ創造都市ネットワークなどを活用し、国内外の都市との交流を通じて互いのノウハウを共有し、取り組みの高度化を図ることとしています。創造都市ネットワークに加盟している北欧の都市もありますので、必要に応じて情報交換を進めていきます。

質問 8	用語の説明をお願いしたい。 ①ブラッシュアップ ②創造的活動、文化的活動 ③文化財保存活用地域計画 ④市民文化創造拠点
-----------------	---

【市の考え方】案の修正

各用語の意味は以下の通りになります。「文化財保存活用地域計画」につきましては、ビジョン案に脚注を加えました。

①ブラッシュアップ：本来「磨き上げること」といった意味がありますが、比喩的な意味で「既にある能力や技術、出来栄などをさらに磨きをかけて高める・良くする」といった意味で使われます。

②創造的活動、文化的活動：それぞれ「創造的な活動」、「文化的な活動」を短縮した表現になります。

③文化財保存活用地域計画：文化財保護法第183条の3の規定に基づき作成される、市町村の区域における文化財の保存及び活用に関する総合的な計画です。

④市民文化創造拠点：平成29年6月に本市が策定した「浜松市市民文化創造拠点施設基本構想」に基づき、創造都市推進に向けて、今後新たに設置に向けた検討を行う施設のことを指します。

質問 9	役割の説明をお願いしたい。 ①浜松市創造都市推進会議 ②浜松版アーツカウンシルと一般のアーツカウンシルの違い、文化振興財団との違いについて
-----------------	---

【市の考え方】その他

①浜松市創造都市推進会議：『創造都市・浜松』推進のための基本方針の理念にのっとり、本市における多様な主体による創造都市の取組を支援するとともに、国内外の創造都市との交流・連携を進め、『創造都市・浜松』の発展を図ることを目的として、その目的に賛同する団体によって構成された会議で、創造都市推進に向けた事業計画の策定や進捗管理、創造都市施策の調査研究などを行います。

②一般のアーツカウンシルは、日本語では芸術評議会などと訳され、それぞれ国の特性や文化政策の方針に沿った事業、運営が行われており、一概に定義するのは困難ですが、『芸術文化に対する助成を基軸に、政府と一定の距離を保ちながら、文化政策の執行を担う専門機関』などと説明されます。

浜松版アーツカウンシルは、市民が主体となった文化活動の活性化を図るとともに、文化芸術がもたらす効果をまちづくり、観光振興、教育、福祉等に波及させ、文化活動の経済的自立、創造産業の振興及び地域課題解決に向けた活用を目指すために設置する中間支援組織という位置付けです。

浜松市文化振興財団は、芸術及び文化の提供、交流、創造及び発信を行うこと並びに市民・地域の芸術文化活動の支援を通して市民文化向上及び地域社会の活性化に資することを目的として設置された公益財団法人です。

要望 7	具体策の一つとして平成27年にも提言した「浜名湖湖上音楽祭」の開催について、改めて検討をお願いしたい。
-----------------	---

【市の考え方】今後の参考

本市の観光資源である浜名湖と音楽文化を結び付けるご提案ですが、事業の実施にあたっては河川管理者である静岡県や、地元住民等との調整に時間を要する点や、事業にかかるコストの点など多くの課題が想定され、実現は難しいと考えております。ただし、「観光と文化」を融合した戦略的な文化政策は非常に重要な視点であると考えますので、今後の取り組みを考える上での参考とさせていただきます。

要望 8	浜松市美術館の寄贈美術品公開展示の消極性を強く感じる。館内に埋蔵しておくくらいなら小中学性の社会科授業への活用や文化芸術大学の教材などに貸出したらいかがか。
-----------------	--

【市の考え方】 今後の参考

基本政策で掲げる「次代の文化芸術の担い手育成」を進める上での具体的な事業例の提案として、今後の参考とさせていただきます。

要望 9	オーストリアのウィーンなどヨーロッパの世界的に有名な音楽都市とも交流を行い、浜松が“音楽の街”であることを積極的にPRしてもらいたい。
-----------------	---

【市の考え方】 今後の参考

本市はユネスコ創造都市ネットワークの音楽分野に加盟していることから、まずはそのネットワークの強みを生かし、加盟都市との連携・交流を通じて「音楽の都・浜松」を積極的にPRしていきます。

要望 10	表現が抽象的で、市民に理解してもらえらるだろうかと感じた。イメージを持ってもらうためにより具体的な事例等を記載してほしい。
------------------	---

【市の考え方】 その他

本ビジョンは10年先を見据えて、取り組みの方向を示すものとして定めるものです。浜松国際ピアノコンクールをはじめ、既に取り組んでいる事業以外で、新たに取り組むべき事業については、本ビジョンを踏まえた慎重な議論の上で実施してまいります。

なお、本ビジョンの冊子を作成する際は、写真を掲載するなどイメージしやすいよう工夫してまいります。

要望 11	予算の内訳を提示してもらえるとわかりやすくありがたい。
------------------	-----------------------------

【市の考え方】 その他

市の予算については、中期財政計画に基づき、限られた財源を最大限有効に活用し諸施策を推進していくため、毎年度予算案を編成し、市議会における審議・議決を経て成立します。

一方、本ビジョンは、10年先を見据えて、取り組みの方向性を示すものとして定めるものです。

本ビジョンにおいては、予算規模を示しませんが、毎年度の戦略計画を核としたPDCAサイクルで事業評価を行うなかで、予算案を提示してまいります。